

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~5日	4月 ~12日	4月 ~19日	4月 ~28日	5月 ~3日	5月 ~10日	5月 ~17日	5月 ~24日	5月 ~31日	6月 ~7日	6月 ~14日	6月 ~21日	6月 ~28日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	10	19	13	12	13	12	11	33	23	37	49	43	47
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	6	12	6	6	1	5	7	3	8	13	19	17 (18)	12
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	2	2	0	0	1	0	3	1	5	1	2	2	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	1	0	2	0	3	0	2	2	2	2	5	4	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	3	2	2	1	5	2	4	1	2	3	3	5	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* 先週の、その他の1件増は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第26週(6月22日~6月28日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			1	1	2	1	2
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症	6		1			3	1	1
四類	5	重症熱性血小板減少症候群	1				1			
		日本紅斑熱	3			1		1	1	
		レジオネラ症	1		1					
五類全数	9	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		侵袭性肺炎球菌感染症	1							1
		水痘(入院例)	1						1	
		アメーバ赤痢	1					1		
		梅毒	2					1		1
百日咳	3					2		1		
指定	0	新型コロナウイルス感染症	0							

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

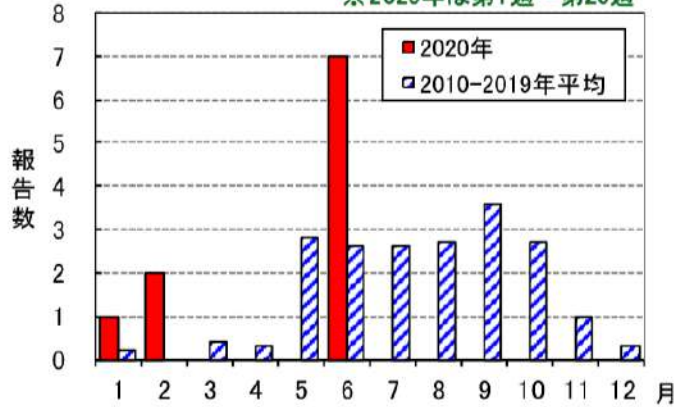
1. 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染防止のため、引き続き、健康管理に注意し、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、「3密」を避けるなど感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

2. 腸管出血性大腸菌感染症

3件の報告があり、今年の累計は10件となりました。第24週以降、報告が続いていますので、肉等の食品の十分な加熱、手洗いの励行など感染予防対策を徹底しましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)
 ※2020年は第1週～第26週



* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	-		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.63	
小児科	咽頭結膜熱	3	0.13	0.82		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.36	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.92	2.60			急性出血性結膜炎	-	-	0.15	
	感染性胃腸炎	43	1.79	5.60		基幹	流行性角結膜炎	1	0.13	0.80	
	水痘	8	0.33	0.35			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	4.95			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.41			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	11	0.46	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	1.67			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	72	男性(40歳代)・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	10	女性(10歳代)・O157、女性(30歳代)・O103、男性(40歳代)・O103
5	アメーバ赤痢	1	4	男性(70歳代)・推定感染地域: 国外
5	梅毒	1	31	男性(40歳代)
5	百日咳	2	38	男性(10歳未満)・2人